

日本最大の高校華道コンクール「Ikenobo花の甲子園2022」 「リモート地区大会」代表9チームが決定 代表チームは、11月13日（日）に京都・華道家元池坊で開催する 「全国大会」に出場します。

華道家元池坊（本部：京都市）は、全国約150チームが高校華道日本一を競う、日本最大の高校華道コンクール「Ikenobo 花の甲子園2022」地区大会を、応募された動画と作品写真で審査する「リモート地区大会」として開催しました。その結果、**全国8地区（北海道／東北／関東／北信越／東海／近畿／中・四国／九州）の代表チーム9チーム**（関東のみ2チーム）が決定しましたので、お知らせいたします。代表チームは、11月13日（日）に京都・華道家元池坊で開催する「全国大会」に出場いたします。

概要は下記のとおりです。

◆「リモート地区大会」代表9チーム			
地区	地域(学校所在地)	学校名	チーム名
北海道	北海道札幌市	市立札幌平岸高等学校	エルフリーデ
東北	青森県八戸市	青森県立八戸西高等学校	八西
関東	群馬県桐生市	群馬県立桐生高等学校	乙女桜
関東	埼玉県春日部市	春日部共栄高等学校	fanfare
北信越	長野県長野市	文化学園長野高等学校	すみれ
東海	岐阜県大垣市	岐阜県立大垣東高等学校	ミナモ
近畿	京都府京都市	京都市立西京高等学校	花咲姉さんズ
中・四国	広島県広島市	安田女子高等学校	On fleek
九州	熊本県熊本市	熊本県立熊本高等学校	若紫

※関東地区については、大会規定によりエントリーが25チームを超えたため、2チームを選出しております。

11月13日（日）京都・華道家元池坊での「全国大会」に出場！

各チームの詳細（メンバーの名前・写真等）及び講評については
10月11日（火）頃にプレスリリースをお送りします。

「Ikenobo 花の甲子園2022」概要

華道家元池坊（本部：京都市中京区）は、次世代への華道文化継承を目的に、全国の高校生が華道日本一を競う日本最大の高校華道コンクール「Ikenobo 花の甲子園2022」を開催します。

「Ikenobo 花の甲子園」は高校生に特化した華道コンクールで、今年で14回目の開催となります。高校で池坊いけばなを学ぶ生徒3人1組でチームを組み、作品を披露します。「リモート地区大会」を経て、11月13日（日）、京都・華道家元池坊で開催する「全国大会」にて、高校華道日本一を競います。

●名称

Ikenobo 花の甲子園2022 今咲かせよう、君の花。

※2009年からスタートした日本最大の高校華道コンクール。今年で14回目になります。

●開催期間

エントリー受付締切：7月29日(金)

動画、作品写真提出締切：9月5日(月)

地区代表チーム発表：10月3日(月)

全国大会：11月13日（日）

●大会趣旨

池坊いけばなを学ぶ高校生3人が1チームとなり、制作した作品を発表する公開コンクールです。文化系の生徒が活躍の場を見出し、地域の代表として、いけばな発祥の地、京都・六角堂で花をいける喜びを感じ、日本の伝統文化・いけばなへの学びを誇りに思うことを目的に開催します。

●公式WEBサイト

https://www.ikenobo.jp/hana_no_koushien/

QRコードはこちら



●主催

一般財団法人池坊華道会

●共催

華道家元池坊総務所

●協賛

吉本興業株式会社

●後援

農林水産省、文化庁、公益社団法人全国高等学校文化連盟、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、日本私立中学高等学校連合会、一般社団法人全国高等学校PTA連合会、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、共同通信社、朝日新聞京都総局、産経新聞社、毎日新聞社京都支局、読売新聞京都総局、北海道新聞社、河北新報社、東京新聞、北國新聞社、中日新聞社、京都新聞、中国新聞社、西日本新聞社、日本教育新聞社（順不同）



「Ikenobo花の甲子園」プロモーション動画

URL : <https://youtu.be/We-InrX32ic>



過去の大会の様子

《本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします》

一般財団法人池坊華道会 安藤・白井 TEL : 075-231-4922 FAX : 075-255-3568

株式会社TMオフィス 馬場・永井 TEL : 06-6231-4426 FAX : 06-6231-4440

E-MAIL : ikenobo@tm-office.co.jp